笑顔をつなぐ

新見地域でいきいき働いている
医療・介護従事者①

幸せに暮らせるお手伝いを

渡辺病院
乳腺外科医師　溝尾（みぞお）　妙子（たえこ）

私は新見で生まれて高校まで新見で過ごしました。地域の温かい人柄の中で育ち、私は新見が大好きです。

「人が幸せに暮らせるお手伝いがしたい」という思いで医師を志し、生まれ育った新見に貢献したいと望み続けていました。

念願叶（かな）って2016年から医師として新見で働くことができ、心からうれしく思っています。

◇ ◇ ◇ ◇

私の専門分野は乳腺外科ですが、今は「総合診療医」としてもやりがいを感じています。

その役割は①どんな患者さんでもまず診ること、②患者さんの生活・家族背景までみて生活を支えること、③新見で最期まで暮らす支援をすることーと考えています。

多職種の方々、地域の医療福祉機関、高次医療機関との連携を大事にし、地域の皆さんのニーズに応えたいと思います。

◇ ◇ ◇ ◇

乳腺専門医としては渡辺病院の乳腺専門外来で、乳房に異常がある人や健診で精密検査が必要になった人の診察を行い、乳がんの手術や抗がん剤治療もしています。

また、乳がんの専門性を生かして、がん診療全般にも力を入れています。

「住み慣れた新見でがん治療が継続でき、最期まで新見で過ごすサポートができれば」という思いから、渡辺病院では多職種と共に「がんサポートチーム」を設立し、抗がん剤治療と緩和ケアを充実させる体制を整えました。

抗がん剤治療については、ほとんどのがんに対して治療や定期検査を行っています。緩和ケアにおいては、がん患者様の症状緩和、患者様やご家族の心身のケア、終末期の患者様の希望を叶えるためのサポートをしています。

◇ ◇ ◇ ◇

私に課せられた新見でのもう一つのミッションは「PIONE（ピオーネ）プロジェクト」です。「地域医療を担う医療人の育成と支援」を目的としたプロジェクトで、岡山大学、新見公立大学、新見市、市内の医療団体と協働して行っています。

主な活動の一つ目は「医療人のスキルアップサポート」で、新見市内の医療者を対象としたシミュレーショントレーニング、岡山大学とつなぐ遠隔講義を行っています。

地域の医療者がスキルアップすることで、より充実した医療を地域の皆さんに提供できるよう取り組んでいます。

二つ目は「地域の医療者・住民とのネットワークの構築」で、「PIONEシンポジウム」を毎年開催して医療者と住民が共に語り合う機会を設けています。

3回目となる今年は「新見で最期まで自分らしく生きるために」をテーマに、市内の医療者と住民が意見を出し合い盛り上がりました。

医療者と住民の距離が近くなり、相互理解が深まることを期待しています。

また、新見市出身の医師や医学生とのつながりを持つことを目的とした「新見市ドクターネットワーク」では、近年、新見に帰って来た医師と共に活動しています。

新見に縁のある医師が、新見の医療を応援してくだされば力になります。新見出身の医師や医学生をご存知の方は、ご一報くだされば幸いです。

◇ ◇ ◇ ◇

プライベートでは昨年、第2子を出産しました。大好きな地元で出産し、子育てができることは大変な喜びです。

育児と家事は夫との共同作業で「その時できる方がやる」スタンスです。2人の育児は悪戦苦闘の日々ですが、義父母と両親、保育園や幼稚園、そして地域の皆さんの温かい目に支えられています。

お陰様で私はやりがいのある医師の仕事もでき、家庭も仕事も充実しています。仕事が大変な時もありますが、地域の皆さんからの「ありがとう」という言葉が私の元気の源です。

医療関係の皆さんや地域住民の皆さんに支えられながら「新見の皆さんが幸せに暮らせるお手伝い」ができるよう精進して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

＊ ＊ ＊ ＊

記事に関する問い合わせは、新見地域医療ネットワーク事務局の新見市地域包括支援センター（電話72・6209）へ。

次は薬剤師の石橋篤枝さんです。